

ゆめ

に向かって!



大阪市立豊新小学校
校長室便り④
令和7年7月16日

さあ、夏休みです

明日は1学期の終業式です。4月からの学校生活を振り返り、よいところはどんどん伸ばし、反省すべきところは2学期に向けてがんばってほしいと思います。また、せっかくの長い休みですから、自分で課題を決めて取り組んでください。趣味や特技に時間を使うのもいいし、地域の夏祭りや行事に参加するなどいろんなことに挑戦し、心も体も成長できる夏休みにしてください。



夏のお話し会

本校では、ボランティア団体「がらがらどん」さんに絵本の読み聞かせをしていただいています。7/10には「夏のお話し会」も開いていただきました。このお話し会では、私も子どもたちにむけて絵本を読みました。



絵本の読み聞かせには、言語能力の向上や集中力、想像力や豊かな感性が育つなど大きな効果があり、読解力など脳の発達にも大きな影響を与えるといわれています。また、精神的にもリラックスした状態になり、心の安定にも繋がります。ぜひ、2学期からも絵本の読み聞かせに参加しましょう。

「がらがらどん」さん、いつもありがとうございます。

基本中の基本と姿勢



もとサッカー日本代表の中田英寿選手を知っていますか。現役時代はイタリアへ渡り、セリエAというプロリーグで大活躍した選手で、ワールドカップにも出場しました。そんな中田選手に次のようなエピソードがあります。それは、練習の時に「対面パス（二人一組になってボールを蹴りあう練習）」をずっと続けていたということです。対面パスは基本中の基本の練習で、サッカーを習い始めた小学生でもおこなう基本練習です。練習を見ている人が飽きるくらいずっと続けていたといえます。では、なぜ中田選手はこのような基本

の練習に多くの時間を使ったのか、こんな言葉を残しています。

『美しいプレーを見せようと思ったら、地味な練習を死ぬほどしないと。基本があれば、1を100にすることだってできる。』

基本があれば大きなことができる。基本があれば応用もできる。言い換えれば、基本がなければ応用もできないと言っているのです。中田選手はプロ中のプロだからこそ、基本を大切にしたのです。



では、学校生活における基本中の基本とは何なのでしょう。「あいさつをする」「時間を守る」「話をしっかり聞く」など、いろいろあると思いますが、忘れてはならないのが「姿勢を正して座る」ということです。その姿勢は「立腰（りつよう）」とも言われ、腰をしっかりと立てて座ります。それだけで、脳への血液の流れが良くなり、頭の働きが活発になり、集中力も出て学習効果が期待できるといわれています。2学期からは、学習の基本の一つである正しい姿勢を意識して、さらに自分の成長につなげてほしいと思います。

こんな姿勢になっていませんか？



編集後記

夏休みはお祭り（豊新盆踊り大会は7/26・27）などもあって、気持ちも開放的になりがちです。しかし、犯罪や事故に巻き込まれる危険性も多くなります。そこで、防犯のための合言葉「いかのおすし」を覚えておいてほしいと思います。楽しく、思い



防犯教室の様子

い出多い夏休みにするためにも、元気に2学期を迎えるためにも、決して被害にあってほしくありません。ご家庭でもご指導をよろしく願います。

5つのお約束！ 安心して登下校

「いかのおすし」

- しらないひとは、ついて **い**かない
- こえをかけられても、くる影には **の**らない
- しらないひとにつれていかれそうになったら **お**おこえをだす
- こえをかけられたりおいかけられたりしたら **す**くにごげる
- こわいことあったりみたりしたら、すぐにおどなに **し**らせる

（校長 尾崎士郎）